

沖縄移民の特質

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

1 講座の趣旨

沖縄からの本格的な移民は、ハワイへ渡った1900年が始まりで、他県の移民から約15年あとです。他県に遅れたにもかかわらず、沖縄県は移民県と呼ばれています。講座では、南米移民や南洋移民等を取り上げ、沖縄移民の特質について考える。



2 講座の概要

- ①日 時 平成28年9月13日(火)
14:00～16:00
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所
本会場：南部合同庁舎4階
サテライト会場 国頭教育事務所
島尻教育事務所
宮古教育事務所
八重山教育事務所
- ④受講者数 37人



3 共催 なし

4 講座内容

No	開催日	内 容	講 師	実施場所
3	平成28年 9月13日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式 ・講義 「沖縄移民の特質」 ・閉講式 	石川 朋子 氏 (沖縄国際大学非常勤 教員)	本会場 南部合同庁舎4階 サテライト会場 国頭、島尻、宮古、八 重山教育事務所

5 成果

- ・沖縄移民に対する講師の熱意が受講生に伝わり、沖縄の歴史についてより深く学ぶことなど沖縄学に対する学習意欲向上につながった。
- ・沖縄移民について年代別、世代別、地域別の特徴を知ることができ、沖縄移民の共通項についても考察できる機会となった。

6 課題

- ・サテライト会場において、マイクの音量が小さく聞こえづらいところもあった。マイクの音量を調節できるような対応が必要。
- ・資料やスクリーンの文字が小さく、見えづらいところもあった。資料やスクリーンを拡大する等の工夫が必要。
- ・受講者増へ向け、広報の方法に工夫が必要(広報の媒体、時期、回数など)。

沖縄の自然と希少な昆虫たち

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

1 講座の趣旨

沖縄県の面積は、日本全体の約0.6%しかありません。ところが、沖縄に生息する昆虫類の種類数を見てみると、ホタル、セミなどのよく知られた昆虫類では、日本全体の約半分もの種類が県内に生息しています。講座では、沖縄を特徴づける「島」をキーワードに、島の成り立ちとそこに暮らす生き物たちの特性について、沖縄の珍しい昆虫類を中心に紹介する。



2 講座の概要

- ①日 時 平成28年9月21日(水)
14:00～16:00
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所
本会場：南部合同庁舎4階
サテライト会場 各教育事務所
- ④受講者数 40人



3 共催 なし

4 講座内容

No	開催日	内 容	講 師	実施場所
4	平成28年 9月21日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式 ・講義 「沖縄の自然と希少な昆虫たち」 ・閉講式 	佐々木 健志 氏 〈球大学博物館 (風樹館) 学芸員〉	本会場 南部合同庁舎4階 サテライト会場 各教育事務所

5 成果

- ・昆虫を通して、沖縄の生物多様性や自然の希少性などを学習し、沖縄の環境保全に対する意識が高まった。
- ・希少な昆虫の標本やカイコのまゆなどを実際に目にする貴重な機会となった。
- ・身近な自然について学習し、これからも昆虫や自然についての学習を継続していく意識が高まった。

6 課題

- ・受講割合で、特に女性が少なく、自然科学系講座の広報方法に工夫が必要。
- ・夏休み前後に開催する講座においては、新聞等の案内の抽選にもれる確率が高くなるため、広報掲載依頼時期を工夫する必要がある。

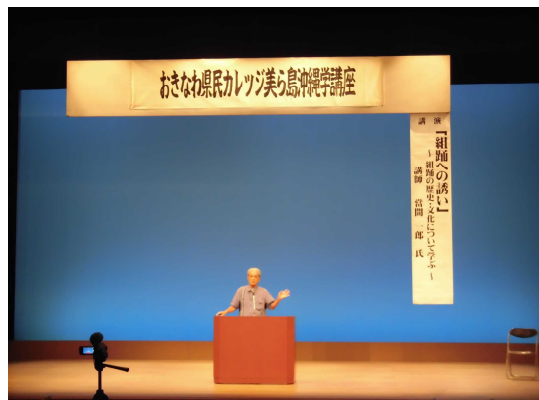
組踊への誘い

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

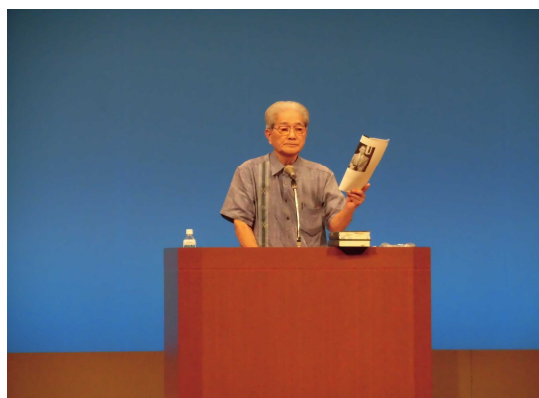
1 講座の趣旨

講座前半では、組踊の創作・上演目的、組踊の三要素、中心思想など組踊の歴史について解説する。講座後半は、組踊「姉妹敵討」を鑑賞する。



2 講座の概要

- ①日 時 平成28年9月24日(土)
12:30~16:00
- ②学習時間 3時間半
- ③実施場所 国立劇場おきなわ
- ④受講者数 21人



3 共催 公益財団法人 国立劇場おきなわ

4 講座内容

No	開催日	内 容	講 師	実施場所
5	平成28年 9月24日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式 ・講義「組踊への誘い」 ・組踊鑑賞「姉妹敵討」 	當間 一郎 氏 (沖縄藝能史研究会会長)	国立劇場おきなわ

5 成果

- ・組踊にあまりなじみのない層にも組踊を鑑賞してもらえる機会となった。
- ・組踊に関する講義後、組踊鑑賞を行ったことで、さらに組踊について学んでみたいという関心が高まった。

6 課題

- ・組踊は毎年恒例の講座であるが、開催時期が例年とは異なるため、受講者が少なかった。広報の工夫が必要。
- ・他の講座と比較して、受講者の年齢層が40代から60代と幅が狭く、70代以降や20代・30代の受講者への広報に工夫が必要(広報開始時期の検討、広報媒体の検討)。

基礎からわかる沖縄のしきたり 1 「ヒヌカンのはなし」

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

1 講座の趣旨

沖縄の人々の生活の中に今も深く根ざしているさまざまなしきたりのうち、現在も各家庭で広く信仰される「ヒヌカン」について、さまざまな実例などを紹介しつつ、わかりやすく説明する。



2 講座の概要

- ①日 時 平成28年10月13日(木)
14:00～16:00
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所
本会場：南部合同庁舎4階
サテライト会場 各教育事務所、伊江村
- ④受講者数 182人



3 共催 なし

4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
6	平成28年 10月13日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式 ・講義 「基礎からわかる沖縄のしきたり 1 ～ヒヌカンのはなし～」 ・閉講式 	稲福 政斉 氏 〈沖縄国際大学 非常勤講師〉	本会場 南部合同庁舎4階 サテライト会場 各教育事務所 伊江村

5 成果

- ・身近なテーマであるヒヌカンを「学問」として専門家から講義を受ける貴重な学習の場となった。
- ・受講生の年代が20代から80代と幅広く、様々な世代の県民が身近な沖縄のしきたりについて学ぶ事が出来た。
- ・実物の香炉や写真を使用しての講座で、ヒヌカンについての理解がより深まった。

6 課題

- ・県外出身の受講生にとっては、方言が理解できない箇所があるため、方言になじみのない受講者も講座内容が理解できるよう工夫する必要がある。
- ・サテライト会場では音が割れて聞き取りにくいことがあったため、対応が必要。

美ら島沖縄学講座⑦

基礎からわかる沖縄のしきたり 2 「門中のはなし」

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

1 講座の趣旨

沖縄の人々の生活の中に今も深く根ざしているさまざまなしきたりのうち、沖縄本島地域を中心にみられる父系血縁集団の「門中」について、さまざまな実例などを紹介しつつ、わかりやすく説明する。



2 講座の概要

- ①日 時 平成28年11月24日(木)
14:00～16:00
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所
本会場：南部合同庁舎4階
サテライト会場 各教育事務所、伊江村
- ④受講者数 80人



3 共催 なし

4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
7	平成28年 11月24日(木)	・開講式 ・講義 「基礎からわかる沖縄のしきたり 2 ～門中のはなし～」 ・閉講式	稲福 政斉 氏 〈沖縄国際大学 非常勤講師〉	本会場 南部合同庁舎4階 サテライト会場 各教育事務所 伊江村

5 成果

- ・門中について学んだことにより、先祖や家族・親族との結びつきを再確認することに繋がった。
- ・門中のしきたりを知っている受講生もいたが、なぜこのようなしきたりがあるのかなど、門中成立の背景や根拠を知ることにより知識が深められた。

6 課題

- ・基礎からわかる沖縄のしきたり⑥⑦は、2講座申込みを行った受講生が多かったが、講座⑦開催まで期日があったためか、講座日を忘れた受講生が多かった。申込みの時点で確認など工夫が必要。

防災！そなえよう地震・津波

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

1 講座の趣旨

講演では過去に沖縄県、特に八重山諸島を襲った地震・津波災害をひもときながら、最新の科学で明らかになってきつつある南西諸島海溝（琉球海溝）での『ゆっくり地震』と巨大津波の関係、さらにこのような大地震・大津波にどう備えるべきか、わかりやすく紹介する。



2 講座の概要

- ①日 時 平成28年12月5日(月)
19:00～21:30
- ②学習時間 2時間30分
- ③実施場所 竹富町竹富島まちなみ館
- ④受講者数 44人



3 共催 竹富町教育委員会

4 講座内容

No	開催日	内 容	講 師	実施場所
8	平成28年 12月5日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式 ・講義 「防災！そなえよう地震・津波」 ・閉講式 	中村 衛 氏 〈琉球大学理学部物質 地球科学科教授〉	竹富町竹富島まちなみ館

5 成果

- ・多くの住民が参加し、大地震・大津波時にどう備えるべきか、また、日常から気をつけなければならないことなどを学ぶ貴重な機会となった。
- ・八重山地方で起こった過去の大地震・大津波、近年発生している地震について、専門家から最新の知見を聞くことで、防災への意識が高まった。

6 課題

- ・講座開催時期、開始時間等情報の確認、調整が必要である。

発掘調査に見る宮古の歴史

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

1 講座の趣旨

宮古島は、沖縄島から南西へ約290kmの場所に位置し、先史時代においては、八重山諸島も含めて無土器期という沖縄島とは異なる文化が営まれました。本講座では、これまでの発掘調査の成果をもとに、約2万5000年前の旧石器時代から約71年前の太平洋戦争時までの宮古の歴史をわかりやすく紹介する。



2 講座の概要

- ①日 時 平成28年12月22日(木)
14:00～16:00
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所 宮古島市中央公民館
- ④受講者数 16人



3 共催 宮古島市教育委員会

4 講座内容

No	開催日	内 容	講 師	実施場所
9	平成28年 12月22日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式 ・講義 「発掘調査に見る宮古の歴史」 ・閉講式 	久貝 弥嗣 氏 〈宮古島市教育委員会 生涯学習振興課文化財 係主事〉	宮古島市中央公民館

5 成果

- ・宮古島で行われている発掘調査について、実際に発掘に携わっている専門員から話を聞くことで、考古学への関心が高まった。
- ・講座をとおり、約2万5000年前の旧石器時代から約71年前の太平洋戦争時までの宮古の歴史を学習することで郷土への理解が深まった。

6 課題

- ・講座開催時期の調整が必要である。

回避！！身近な消費者トラブル

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

1 講座の趣旨

近年、悪質な手口で高齢者をはじめ、多くの方が詐欺事件に巻き込まれている事案が後をたちません。講座では、実際の事例などをもとに、消費者トラブルに巻き込まれないよう、わかりやすく紹介する。



2 講座の概要

- ①日 時 平成28年12月15日(木)
14:00～16:00
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所
本会場：南部合同庁舎4階
サテライト会場 各教育事務所
- ④受講者数 29人



3 共催 なし

4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
10	平成28年 12月15日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式 ・講義 「回避！！身近な消費者 トラブル」 ・閉講式 	武元 奈美 氏 〈沖縄県消費生活 センター 消費生活相談員〉	本会場 南部合同庁舎4階 サテライト会場 各教育事務所

5 成果

- ・詐欺の手法について、事例を通して学習することができ、同様の手口による詐欺の被害を防止するための一助となった。
- ・実生活において注意すべき点を具体的に学習したことにより、受講生の防犯意識が高まった。
- ・詐欺などの相談先として、沖縄県消費生活センターについての説明もあり、県民への周知の機会となった。
- ・サテライト会場においては音質が改善された。

6 課題

- ・他の講座に比べて新聞やチラシによる応募が少なかった。広報の時期に工夫が必要。